

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 5 年 7 月 3 日(2023.7.3)

【公開番号】特開 2022-191518(P2022-191518A)
 【公開日】令和 4 年 12 月 27 日(2022.12.27)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-239
 【出願番号】特願 2022-173038(P2022-173038)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 6 月 23 日(2023.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

取得条件の成立によって取得された判定情報に基づいて、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かを判定し、前記判定の結果に基づいて、図柄の変動表示を実行可能である遊技機において、

所定の異常を検出するための検出手段と、

前記検出手段からの入力信号に基づき所定の制御を行う第 1 制御手段と、

前記第 1 制御手段からの信号に応じた制御を行う第 2 制御手段と、

変動演出を実行可能な表示手段と、

30

所定の態様で振動可能な演出手段と、を備え、

前記遊技機への電力供給の開始後に前記表示手段に演出図柄を表示可能であり、

前記遊技機への電力供給が開始されたときに前記第 1 制御手段と前記検出手段とが非接続状態である場合、所定の報知を実行可能であり、

電力供給の開始後に前記演出手段を振動させる初期動作を実行可能であり、

前記変動演出において前記演出手段を振動させる演出動作を実行可能であり、

前記初期動作における前記演出手段の振動態様と、前記演出動作における前記演出手段の振動態様とを異ならせたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、取得条件の成立（始動口への遊技球の入賞）によって取得された判定情報（特図判定情報）に基づいて、遊技者に有利な特別遊技（大当たり遊技）を実行するか否かを判定し、前記判定の結果に基づいて、図柄（特別図柄）の変動表示を実行可能遊技機において、所定の異常（磁気異常、電波異常等）を検出するための検出手段（磁気検出センサ 53a、電波検出センサ 54a）と、前記検出手段が

50

らの入力信号に基づき所定の制御を行う第 1 制御手段（主制御基板 1 1 0）と、前記第 1 制御手段からの信号に応じた制御を行う第 2 制御手段と、変動演出を実行可能な表示手段（第 1 画像表示装置 7 0）と、所定の態様で振動可能な演出手段（演出ボタン 1 7）と、を備え、前記遊技機への電力供給の開始後に前記表示手段に演出図柄を表示可能であり、前記遊技機への電力供給が開始されたときに前記第 1 制御手段と前記検出手段とが非接続状態である場合、所定の報知（エラー報知等）を実行可能であり、電力供給の開始後に前記演出手段を振動させる初期動作を実行可能であり、前記変動演出において前記演出手段を振動させる演出動作を実行可能であり、前記初期動作における前記演出手段の振動態様と、前記演出動作における前記演出手段の振動態様とを異ならせたことを特徴とする。

10

20

30

40

50